

## 放射線診断科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 膵胆道術後の肝外肝動脈出血に対するIVR（経カテーテル的治療）：救命率と救命に寄与する因子についての後方視的研究

[研究機関] 北海道大学病院放射線診断科

[研究責任者] 阿保 大介 （放射線部・助教）

[研究の目的] 後方視的に膵胆道術後の肝外肝動脈出血に対する IVR（経カテーテル的治療）の成績を全国的に調査し、その現状と有用性を検討することです。特に、救命率と救命に寄与する因子を重要課題として検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

膵胆道術後の出血症例の中で、肝外肝動脈(総肝動脈、胃十二指腸動脈断端部、固有肝動脈)からの出血に対して IVR が施行された症例で、平成 17 年 1 月 1 日から平成 23 年 12 月 31 日の間に IVR による治療を受けた方

●利用するカルテ情報調査項目は、年齢、性別、臨床診断、術式、出血の種類、検査所見、画像所見、IVR手技、手技後の結果であります。これらの結果をもとに、手技的成功率、術後合併症、救命率、転帰、救命に寄与する因子等を検討します。

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院放射線診断科 担当医師 阿保大介

電話 011-716-1161 FAX 011-706-7876